

ISSN 2186 – 3989

外国学会発表報告

2023 年応用日語国際学術研究会

(International Association of Taiwan Applied Japanese Association 2023)

2023 年 4 月 28 日 (金) ～ 4 月 30 日 (日) 高雄 (台湾)

国際交流センター 大谷 鉄平

北 陸 大 学 紀 要
第55号(2023年9月)抜刷

外国学会発表報告

2023 年応用日語国際学術研討会

(International Association of Taiwan Applied Japanese Association 2023)

2023 年 4 月 28 日 (金) ~ 4 月 30 日 (日) 高雄 (台湾)

国際交流センター 大谷 鉄平

発表題目：見出し文における「ブレイク」のふるまいと意味機能

報告者は 2023 年 4 月 29 日に文藻外語大学 (台湾・高雄) で開催された 2023 年応用日語国際学術研討会に参加し、「見出し文における「ブレイク」のふるまいと意味機能」との題目で口頭発表を行った。

本研討会を主催した社団法人台湾応用日語学会は報告者が所属する日本比較文化学会の姉妹学会であり、今回、学会間交流として、報告者を含む 5 名の日本比較文化学会会員が招待された。報告者以外の会員の発表題目は、以下の通りである。

- ・日本語学習者の中間言語におけるプロトタイプのイメージの段階性に関する一考察—言語情報と視覚情報の分析を通して— (佐古恵里香/山内信幸 (流通経済大学特任講師/同志社大学教授))
 - ・戦後日本の「こどものうた」歌詞制作に関する考察 (佐藤慶治 (鹿児島女子短期大学准教授))
- ※もう 1 名は日本比較文化学会会長の八尋春海教授 (西南女学院大学)

一方、本研討会のテーマは「ニューノーマル時代の日本語教育と日本研究」であり、午前中は、以下に挙げる 4 件の講演があった。

- ・「夏目漱石」が朗読する『夢十夜』—アンドロイドによる文学教育の試み— (山口直孝 (二松学舎大学文学部教授))
- ・韓国の日本語教育における AI 研究の現状 (尹楨勛 (釜山外国語大学日本語融合学部助理教授))
- ・ニューノーマル時代の日本語教育と日本研究—AI と HI を兼ね備えた日本語人材育成のパラダイム・チェンジ— (曾秋桂 (淡江大学日本語文学科教授兼村上春樹研究センター主任))
- ・見守りロボットは日本語教師の夢を見るか? (小高裕次 (文藻外語大学日本語学科副教授))

午前中の講演では、AI、特に昨今注目されている ChatGPT に関する話題を取り上げる講演者が多かったが、台湾に比し、日本・韓国では日本語教育における AI 利用に関する議論が盛り上がり欠けている、との指摘が興味深かった。

(左) 会場の様子と発表 PPT



(右) 口頭発表時の様子

